

年末年始展示イベント「へび」

2013年の干支である「へび」をテーマに、みんなく所蔵の資料や写真を展示し、世界各地の「へび」にかかわる興味深い情報をご紹介します。展示場内の「へび」にかかわる資料の場所を示した「へびマップ」も会場でお配りします。年末年始の1日、世界の人びと「へび」のつながりを探ってみませんか？

◆関連イベント
●ギャラリートーク
日時 1月14日(月・祝)
①11時～11時30分
②14時30分～15時
解説 小林繁樹(国立民族学博物館 教授)
会場 本館展示場内ナビひろば
※申込不要、参加無料(当日無料観覧日)

◆ワークショップ
「カルタを作って」

参加者はへび展示場で解説を聞いた後、印象に残った展示物を選び、スケッチやコラージュをして、カルタを作ります。
日時 1月14日(月・祝)
①10時30分～12時30分(受付開始10時)
②14時～16時(受付開始13時30分)
集合場所 第3セミナー室
定員 16名

※要申込(先着順)、参加無料(当日無料観覧日)
申し込み・お問い合わせ先
情報企画課「へび」展ワークショップ担当
電話 06・6878・8532

◆みんなくウィークエンド・サロン
詳細は本誌24ページをご覧ください。
「やっぱりヨーロッパ——春のみんなくフォーラム2013」

多様な歴史・文化・信仰から生み出された生活様式、近代の産業化を可能にした労働の力、グローバリ化した現代の人の移動と文化の交流が生み出す創造力。ヨーロッパの魅力をおささげするイベントを通じて紹介します。
会期 2013年1月5日(土)～3月23日(土)
◆関連イベント

◆ハンセマナー(全4回)
小麦とライ麦は世界の食文化の中で大切な穀物です。ヨーロッパでは多様な形態のパンとして広く利用されています。このパンとヨーロッパの文化との関係をフィンランド、ルーマニア、ドイツ、イタリアの専門家が語ります。
▼第1回 2013年1月26日(土)
「北欧のパン——ライ麦パンってどんな味？」
講師 庄司博史(国立民族学博物館 教授)、井上シルッカ(フィンランド料理アドバイザー)

北ヨーロッパからロシア北部にかけてのパンといえはライ麦パン。でも小麦の代わりにライ麦を使っただけではありません。作り方も味もちがうのです。セミナーではライ麦パンの

オーブンサンドをちよつと味見しながら、北欧のパン文化の世界をのぞいてみます。
▼第2回 2013年2月9日(土)
「東欧のパン——礼拝ではワインとともに」
講師 新免光比呂(国立民族学博物館 准教授)

パンは日常の糧であるばかりではなく、キリスト教の礼拝において大切な役割を持っています。そのときに重要なものがワインです。ワインを味わいながらパンの意味を考えてみましょう。
各回とも
時間 14時30分～16時(受付開始14時15分)
会場 国立民族学博物館 食堂(本館1階)
参加費 一人あたり500円
対象 中学生以上
※お子様の同伴はご遠慮ください
定員 一回につき40名
※有料、要申込
※申込締切 2013年1月11日(金)
※2月23日(土)、3月9日(土)にもパンセミナーが開催されます。
※2月9日(土)のパンセミナーでは、ご希望の方(20歳以上)には、ワインをご用意いたします。当日は、お車でのご来館をお控えください。

広報企画室 企画連携係
電話 06・6878・8210

◆みんなく映画会/みんなくワールドシネマ「少年と自転車」
今回は、ベルギー・フランス・イタリア合作の「少年と自転車」を上映します。親に捨てられ傷ついた少年が、信頼できる大人に出会い、心を開いて成長していく軌跡を、きめ細やかに描いた感動の物語。少年と里親の姿を通して、社会の支援と血のつながらない者どうしの絆を描きます。
日時 12月9日(日) 13時30分～16時(開場13時)
会場 講堂(先着450名)
※参加無料、申込不要
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布

国際ワークショップ
「グロバル支援のための実践人類学」
——研究と実践のキャリア・プランニング——
日時 12月15日(土) 13時～17時
会場 第4セミナー室(定員80名)
※参加無料、要申込、日英同時通訳あり
お問い合わせ先
支援の人類学ワークショップ事務局
suzuki.o@dc.minpaku.ac.jp

●展示場新構築のお知らせ
本館展示場「日本の文化」展示のうち「祭り」と芸能」と「すまいとくらし」の一部が来年3月に新しく生まれ変わります。それに伴い、「日本の文化」展示全体が工事のため閉鎖されます。
閉鎖期間 2013年3月21日(木)まで
●休館日・無料観覧日のお知らせ
年末年始は12月28日(金)から1月4日(金)まで休館します。
1月14日(月・祝) 成人の日は本館展示を無料で観覧いただけます。ただし、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要となります。
※イベントや刊行物について、くわしくはホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17時(土日祝を除く)です。

刊行物紹介
■朝倉敏夫 編
『火と食』
ドメス出版 定価：2,625円
この本は味の素の文化フォーラム「火と食」(2011年度)をまとめたものです。火と人間、火と生活、火と調理という側面から火と食の関係を追究します。
お問い合わせ先
http://www.minpaku.ac.jp/

みんなくフォーラム

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第415回 12月15日(土)
樹皮舟を復元する——極東ロシアの白樺樹皮文化
講師 佐々木史郎(国立民族学博物館 教授)



樹皮舟を操る

二〇〇五年夏にロシア連邦ハバロフスク地方のアムール川下流域に暮らすナナイと呼ばれる先住民族の村で白樺樹皮舟の復元製作を行い、それを標本資料として本館に収蔵しました。その工程と技術そしてその背景となる彼らの白樺樹皮文化を紹介いたします。

第416回 1月19日(土)
「春のみんなくフォーラム2013」関連
ヨーロッパのキリスト教とファシズム
——ルーマニア・レジオナル運動を中心に——
講師 新免光比呂(国立民族学博物館 准教授)
深澤英隆(一橋大学 教授)



大天使ミカエルと大天使ガウリエル

よく耳にするファシズムとはいったいどういったものなのでしょうか。そしてヨーロッパでは、キリスト教と関係があるのでしょうか。そんなことをルーマニアを中心にしてドイツ、イタリアの事情と比較して考えてみます。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)

第415回 1月5日(土) 14時～15時
時間の変更あり
クリスマスからイースターにかけての祝祭から

講師 宇田川妙子(国立民族学博物館 准教授)
ヨーロッパでは冬から春にかけてさまざまな祝祭があります。農閑期であるという事情もありますが、それ以上に新しい年を迎える、つまり時間の変わり目であるということ深く関わっています。複数の暦が錯綜するヨーロッパの事情もふまえ、「時間の区切り」について考えてみましょう。

第416回 2月2日(土) 14時～15時
みんなくコレクションを語る
明治と昭和初期の樺太資料の収集者たち
講師 齋藤玲子(国立民族学博物館 助教)

東京講演会(今回は横浜にて開催)
会場 JICA横浜会議室
定員 40名(要申込)
第104回 12月9日(日) 14時～15時
世界のバスケット/バスケットの世界
講師 陳天璽(国立民族学博物館 准教授)

※講演会終了後、海外移住資料館の見学もおこないます。
「やっぱりヨーロッパ——春のみんなくフォーラム2013」関連
親子ワークショップ「春よこい！」(要申込)
1. みんなで踊ろう！——トランシルヴァニアの踊りと歌
1月27日(日) 14時～15時半
会場・EXPO70パビリオン、参加無料

2. ブルガリアのおまもり・マルテニッツァを作ろう！
2月24日(日) 14時～15時半
会場・国立民族学博物館第3セミナー室、要材料費
※内容や詳細は上記友の会までお尋ねください。

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

ペルーのアルパカ人形たち

寒い季節になりました。今回はペルーからきたアルパカ純毛100パーセントのアルパカ人形をご紹介します。アルパカは南アメリカ大陸原産の家畜で、特にペルー、ボリビア北部、チリ北部の海拔およそ3500～5000メートルのアンデス・湿潤高原地帯で放牧されています。その体毛はきわめて良質で、衣類をはじめとする生活用品として利用されています。アルパカの毛で作られたアルパカ人形は、ふわふわ、ももこと肌触りがよく冷えた体を温めてくれます。ご自分用はもちろん、またクリスマスプレゼントにもよろこばれると思います。



アルパカストラップ

アルパカ人形 全6種類
小(高さ12cm)～特大(高さ55cm)
1,260～18,900円
アルパカストラップ 1,470円

価格はすべて税込